

令和元年10月11日
気象庁予報部

配信資料に関するお知らせ

～大雨特別警報の新たな発表指標の運用開始について～

雨を要因とする大雨特別警報について、危険度分布で用いている技術（災害発生との関連が深い指数）を発表指標に導入し、島しょ部や単一市町村も発表対象となるよう改善します。

この新たな発表指標の運用を下記のとおり先行的に開始しますので、お知らせします。

なお、本運用開始に伴う気象に関する警報等の電文の変更はありません。

記

○実施日時

令和元年10月11日（金）14時（日本時間）

○開始する地域

東京都伊豆諸島北部

○内容

「大雨警報（土砂災害）の危険度分布」の技術を用いて地域の災害特性を反映した土壌雨量指数値を設定し、土砂災害についての新たな発表指標として導入します。指標の詳細は気象庁ホームページをご覧ください。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/ki_jun/tokyo.html

<参考>

「伊豆諸島北部で大雨特別警報の新たな発表指標の運用を開始します」

https://www.jma.go.jp/jma/press/1910/11a/20191011_tokubetsukeihou_kaizen.html